

理念 Science&Humanity 科学する心と人間愛



- 1 巻頭言 ● 文＝副院長 香川 浩一
- 2 災害と心臓・血管の病気
いざという時のために知っておきたいこと ● 文＝循環器内科部長 渡邊 圭祐
- 3 『新別府病院』の地域活動
市民公開講座
- 4 私のしごと 救急救命士 ● 文＝河野 寛大
- 5 たべあるき 御菓子司 讃州堂さん
- 5 趣味のコーナー ● 文＝研修医 今下 晶斗
- 6 紹介します！まちのお医者さん ● 荘園内科クリニック
- 7 診療担当表

病院敷地内 **全面禁煙**
ご協力をお願いいたします。



日本医療機能評価機構認定病院
国家公務員共済組合連合会

新別府病院



日本肝炎デー・肝臓週間



副院長

香川 浩一

暑中お見舞い申し上げます。

暑い日が続きますが皆様いかがお過ごしでしょうか。あまり知られていないと思いますが、7月28日は「World Hepatitis Day(世界肝炎デー)」です。厚生省のホームページを参照すると、2010年に世界保健機構(WHO)が制定し、日本でもこの日を「日本肝炎デー」として、国や地方公共団体、医療機関や事業主団体などが協力して、肝炎の病態や知識、予防、治療に係る正しい理解が進むよう普及・啓発を行い、肝炎ウイルス検査の受検を促すことが主な目的です。この7月28日は、B型肝炎ウイルス(HBV)を発見し、その診断検査とワクチンを開発したノーベル賞受賞科学者バルーク・ブルムバーグ博士の誕生日であることから、この日が選ばれました。この日を含む1週間を「肝臓週間」として、各地域で啓発イベントが実施されています。

大分県では1999年から県内の各所で市民公開講座を開催してきました。これは世界肝炎デーが制定される10年以上も前になります。この頃の肝臓週間は5月の第4週の7日間でした。振り返ってみますと、別府市では2000年の5月27日(土)にビーコンプラザで市民公開講座が行われています。

それから四半世紀が経ちましたが、ウイルス性肝炎の治療は格段に進歩しました。B型やC型肝炎は、飲み薬だけで肝炎の沈静化や治癒が得られています。インターフェロン治療に比べると副作用も大きく軽減していて、日常生活を送りながら外来診療で治療を行うことができます。有効性が非常に高い治療です。

ウイルス性肝炎が減少している一方で、代謝機能障害関連脂肪性肝疾患(MASLD)が増えてきています。肥満や糖尿病などと密接に関係している疾患です。食事や運動などの生活習慣の改善が第一ですが、有効な内服薬もそろそろ保険適応になりそうです。多くの肝臓の病気は、苦痛の少ない血液や画像検査で診断や病状の把握できますので、検診や人間ドックなどによる定期的な健康管理が大切な疾病だと思います。

災害と心臓・血管の病気

いざという時のために知っておきたいこと

循環器内科部長 渡邊 圭祐

地震や台風、豪雨などの大きな災害は、私たちの生活に甚大な被害をもたらします。家屋の倒壊やライフラインの寸断だけでなく、私たちの健康にも深刻な影響を及ぼすことがあります。特に、心臓や血管の病気(循環器疾患)は、災害時に発症しやすくなったり、元々の病気が悪化しやすくなることが知られており、注意が必要です。

実際にあった災害時の循環器疾患の増加

例えば、1995年の阪神・淡路大震災や2011年の東日本大震災では、災害後数週間にわたり、心筋梗塞や脳卒中などの循環器疾患で亡くなる人が増えたことが報告されています。特に、高齢者や基礎疾患を持つ人にリスクが高いとされています。

なぜ災害時に循環器疾患が増えるのか？

災害という非日常的な状況は、心身に大きな負担をかけます。

強いストレス：命の危険や将来への不安、家族の安否確認など、極度の精神的ストレスは血圧を上昇させ、心臓に大きな負担をかけます。

生活環境の悪化：避難所での生活は、プライバシーが確保しにくく、眠れない、食事が偏る、水分や運動が不足するといった問題が起こりがちです。

エコノミークラス症候群：車中泊や狭い避難所などで長時間同じ姿勢でいると足の血流が滞り、足の静脈に血の塊(血栓)ができることがあります。この血栓が肺に飛ぶと、胸の痛みや呼吸困難を引き起こす「肺塞栓症」という命に関わる病気につながります。

塩分の多い食事：支援物資のカップ麺やパン、おにぎりなどは塩分が多くなりがちで、高血圧や心不全を悪化させる原因となります。

医療の中断：「周りに迷惑をかけたくない」「薬が手に入らない」といった理由で、普段飲んでいる血圧や心臓の薬をやめてしまうことがあります。これは非常に危険です。

特に注意したい病気

高血圧・心不全の悪化：上記のような要因が重なり、血圧が急上昇したり、心臓のポンプ機能が低下している心不全が悪化したりします。息切れ、むくみ、急な体重増加は注意信号です。

たこつぼ心筋症：強いストレスが原因で、心臓の動きが一時的に悪くなる病気です。突然の胸の痛みや息苦しさなど、心筋梗塞と似た症状が出ます。

心筋梗塞・脳卒中：ストレスや脱水、血圧の上昇は、心



臓や脳の血管が詰まったり破れたりするリスクを高めます。これらは命に直結する危険な病気です。

自分と家族の命を守るためにできること

災害はいつ起こるかわかりません。日頃からの備えと、災害時の適切な行動が重要です。

事前の備え

お薬の準備：普段から飲んでいる薬(特に血圧、心臓、糖尿病など)は、最低でも1週間分、できれば多めに予備を持っておきましょう。「お薬手帳」も必ず一緒に保管し、避難時に持ち出せるようにしてください。お薬手帳のコピーや、スマホで写真を撮っておくのも有効です。

血圧計の用意：自宅に血圧計があれば避難時にも持ち出し、日々の体調管理に役立てましょう。災害後の循環器疾患抑制の第一歩は血圧測定です。

避難生活での心がけ

水分をこまめに摂る：のどが渴いていなくても、意識して水分を補給しましょう。脱水は血栓をできやすくします。

体を動かす：狭い場所でも足首を回したり、かかとの上げ下ろしをしたり、ふくらはぎを軽くもんだりして血流を促しましょう。できるだけ1日20分以上は歩きましょう。

減塩を意識する：支援物資を食べる際も、汁を全部飲まない、漬物を控えるなど、少しでも塩分を減らす工夫をしましょう。

薬は絶対に中断しない：自己判断で薬をやめず、必ず飲み続けてください。薬が切れそうな場合は、巡回医療班や救護所の医師・薬剤師に相談しましょう。

ためらわずに相談する：「胸が痛い」「息が苦しい」「ろれつが回らない」「片方の手足に力が入らない」「足がむくんで痛い」などの症状が出たら、絶対に我慢しないでください。すぐに周りの人や救護所のスタッフに助けを求めましょう。

災害時は誰もが大変な状況にあります。しかし、自分の健康を守ることが、この困難を乗り越えるための第一歩です。正しい知識を身につけ、できる備えをしておきましょう。



『新別府病院』の地域活動



当院は「地域医療支援病院」です。そのため、地域の医療機関の先生やスタッフの方々、訪問看護ステーションのスタッフ、救急隊員などを対象に「地域連携セミナー」を毎月開催しております。

このセミナーは令和6年2月には第100回の開催となり、大分県医師会から表彰されました。セミナーの内容は、当院の医師が各々の分野に特化した講演をおこなっていましたが、最近は認定看護師等も講演をしており、今後もより幅広いテーマで開催したいと考えています。

「地域連携セミナー」は医療者向けですので、残念なことに一般の方々は参加できません。そこで、当院でできる治療や日常の健康を維持するために、ぜひ一般のみなさまにも学んでいただきたいと考えまして、『市民公開講座』の開催を企画しております。

みなさま奮ってご参加ください。

今回開催される市民公開講座は、今年4月から新たに赴任した心臓血管外科の木村先生、脳神経外科の島内先生が講演します。この2つの診療科はしばらく常勤医不在の状態でしたが、今年から復活です。

復活した診療科がどんな治療を行うのか、ぜひみなさまお話を聞きに来てください。

令和7年度 新別府病院「市民公開講座」

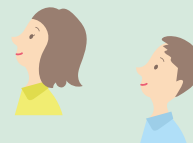
参加費無料

予約不要（先着100名）

日時 令和7年 **8月23日（土）** 14:00～15:30

会場 ビーコンプラザ 中会議室

お問合せ 新別府病院 TEL.0977-22-0391



講演
①

皆さんの心臓は大丈夫ですか？
～心臓外科医のひとりごと～



心臓血管外科
木村 龍範 先生

講演
②

頭・背骨・末梢神経を診る
～当院における脳神経外科診療～



脳神経外科
島内 寛也 先生

私のしごと



救急救命士

こうのひろとも
救急救命士 河野寛大

はじめまして。本年度より新規職種として採用となりました救急救命士の河野寛大と言います。

皆さんは「救急救命士」と聞くと消防?とイメージする方が多いと思いますが、近年厚生労働省より救急救命士法の改定が有り、病院内でも働けるようになりました。

活動できるフィールドは救急に限られますが、医師や看護師に次ぐ第3の医療者として患者様に携わっていただければと思います。

現在の業務内容としては、ドクターカー業務と救急救命士科の立ち上げ準備が中心となっています。ドクターカーに関しては、運転・患者情報の獲得・医療機関や消防機関と連携し、情報交換・共有を行っています。可能な範囲ではありますが、現場での医師や看護師の処置サポートや救急隊と搬送を一緒に行っています。

また、ドクターカーの出動が無いときにはERで医師や看護師の処置介助・院内急変発生時の対応・消防救命士実習のサポートを行っています。

その業務の合間を縫って、救急救命士が院内で機能的に活動できるように基準や手順など様々な準備を行っております。

趣味は、温泉とサウナです。なので、温泉地「別府」に来られたことを凄く光栄に思います。仕事と趣味を両立しながら、より良い業務が出来るよう頑張ります。

最後になりますが、私は、ここ新別府病院が好きです。月日を追うごとに、もっともっと好きになれるようになりたいです。何年後になるかは分かりませんが「うちの病院のことは何でも知ってる!なんでも聞いて!」と言える様なスタッフになれるよう頑張ります。皆様、よろしくお願いいたします。



たべあるき



新連載「たべあるき」は、「お堅い読み物ばかりで肩が凝る」という読者の声を受け、『箸休め』的なコーナーとして、地域に密着したお店を紹介していきます。

第1回

御菓子司 讃州堂

創作和菓子あり！洋菓子あり！
バリエーションの豊富さに驚く



記念すべき第1回の「たべあるき人」は、広報委員会が務めました。病院から別府駅方面へ歩いて約1分、敷地のお隣にある「御菓子司 讃州堂」さんです。



御菓子司 讃州堂

所 別府市鶴見6-3
営 9:00～18:00
休 火・水曜日

MAP



明治13年(1880年)創業の老舗で、現在の場所に移転してからは35年ほどになります。当代6代目の店主、末光弘太郎さんは、若い世代に和菓子に興味を持ってもらうため、創作和菓子や洋菓子にも力を入れているとのこと。定番の饅頭やカステラ、どら焼きに加え、「栗のテリーヌ」や「餡フィナンシェ」といった洋菓子もあり、バリエーションの豊富さに驚かされました。季節の練り切りや人気のいちご大福など、一年中楽しめる工夫がされており、SNSでの発信によるインバウンド集客も行っています。

広報委員長は「和三盆糖プリン」を、私は「チーズ大福」を選びました。贈答用にも自宅用にも重宝されるお店です。

当院でも3月には桜餅、5月には柏餅や水羊羹などを調達させていただき、患者さまへの給食に提供し喜ばれてます！

趣味の コーナー



研修医
今下 晶斗

お気に入りのカップで紅茶生活

紅茶を嗜む時に大切なことは何だと思いますか？ 味、お菓子、それも大事です。同じくらい大事だと思うのがカップとポットです。自分のお気に入りのカップで飲む、これだけで幸せになれます。僕は運命のティーカップを求めて店を見かける度に寄っていきます。鳥ちゃんが居たり、お花が描いてあったり良い物はたくさんあります。が、一番求めているのはフランスのセーブルという釜の青いカップなのです。流通量が少なすぎて入手できる気配がありません。中古の店も見に行ったりするのですが気配のかけらもありません。似た色の商品も探しているのですが全然ないです。セーブルのクラウドッドブルーはとてもいい色なのでぜひ調べてみてください。もし売っている所を見たことがあるよという方はぜひご一報いただけると嬉しいです。お気に入りのカップでの紅茶生活、あなたもぜひ始めてみませんか？





\ 紹介します! / まちのお医者さん



新別府病院の登録医として連携をとっている地域（別府市をはじめ日出、杵築、国東など県北まで）の先生方にご登場いただき、病院の紹介をしていただくコーナーです。

荘園内科クリニック



院長
小畑 雅寛

診療科目 内科・消化器内科

荘園内科クリニックは平成9年に東荘園で開業し、地域に根ざした医療を続けてまいりました。令和3年に私が院長を引き継ぎ、開業から28年目を迎えています。以前から診ていた神経疾患や生活習慣病に加え、消化器疾患にも対応できる体制を整え、内視鏡検査を含む消化器診療や人間ドックなど予防医療にも力を入れています。

小さなクリニックではありますが、「何かあればまず相談してみよう」と思っただけのような、地域のかかりつけ医として、専門にとらわれず幅広い症状に対応しています。限られた院内設備では対応が難しい高度医療や専門的治療が必要な場合、また夜間・休日の急変時には、新別府病院の先生方に迅速かつ的確な対応をいただき、日々大変感謝しております。今後とも地域医療の一翼を担うクリニックとして、病診連携を大切にしながら、安心と信頼の医療を提供してまいります。

〒874-0836 別府市東荘園4丁目11-10

☎ 0977-27-3800

休診日：日曜・祝日・年末年始・盆休診・水曜午後・土曜午後

外来診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	●	●	●	●	●	●
15:00～17:45	●	●	—	●	●	—
内視鏡検査	月	火	水	木	金	土
12:00～15:00	●	●	—	●	●	▲

▲…第2・第4土曜日内視鏡検査 12:00～16:00



診療科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内 科			香川 浩一							
脳 神 経 内 科 (急患以外要予約)	今居 裕淑	今居 裕淑 (要予約)	迫 祐介 水上 健 (要予約)	迫 祐介 水上 健 (要予約)	今居 裕淑	今居 裕淑 (要予約)	水上 健	水上 健 (要予約)	今居 裕淑 迫 祐介 (要予約)	今居 裕淑 迫 祐介 (要予約)
呼 吸 器 内 科	徳永 裕一 松本 祐二		徳永 裕一 矢部 道俊		徳永 裕一 松本 祐二		徳永 裕一 松本 祐二		徳永 裕一 矢部 道俊	
消 化 器 内 科	後藤 康彦 田上 洸人	担当医 (要予約)	仲谷 朋久 本田 秀穂	担当医 (要予約)	本田 秀穂 古本 裕也	担当医 (要予約)	香川 浩一 古本 裕也 伊藤 秀幸	担当医 (要予約)	後藤 康彦 仲谷 朋久	担当医 (要予約)
肝 臓 内 科	香川 浩一								香川 浩一	
内 視 鏡 外 来 (受付午前10時迄)	本田 秀穂		古本 裕也		仲谷 朋久		田上 洸人		伊藤 秀幸	
内 分 泌 代 謝 内 科	吉道 剛 坪井 由紀 矢野 恵司	矢野 恵司 (要予約)	富本あけみ	富本あけみ (要予約)	吉道 剛 迫田 景子	吉道 剛 (要予約)	富本あけみ 坪井 由紀	富本あけみ (要予約)	吉道 剛 迫田 景子	矢野 恵司 (要予約)
膠原病リウマチ科			小川 武彦				小川 武彦			
循 環 器 内 科	永松 優	永松 優 (要予約)	宮崎 貴志 山下 稜貴	宮崎 貴志 山下 稜貴 (要予約)	渡邊 圭祐 永松 優	渡邊 圭祐 永松 優 (要予約)	担当医	担当医 (要予約)	渡邊 圭祐 宮崎 貴志	渡邊 圭祐 宮崎 貴志 (要予約)
外 科	田島 正晃		河原 大和		菊池 暢之 田島 正晃		菊池 暢之 河原 大和		田島 正晃 佐藤 健吾	
ス ト ー マ 外 来 (要予約)									担当看護師	
人工関節センター (要予約)	泊 一秀 日隈 康雄		泊 一秀 日隈 康雄		手 術 日		手 術 日		日隈 康雄 埜口 貴弘	
整 形 外 科	埜口 貴弘 池邊 哲郎		埜口 貴弘 池邊 哲郎		福田 貴仁		手 術 日		福田 貴仁	
スポーツ膝外来 (要予約)									平川 雅士	
脳 神 経 外 科	島内 寛也				下村 剛		島内 寛也		島内 寛也 (第2・4・5)	
認知症予防外来 (要予約)										濱崎 清利 (第1・3)
心臓血管外科	木村 龍範		11時より 診察開始	首藤 敬史	木村 龍範		木村 龍範		木村 龍範	
呼 吸 器 外 科	休 診									
泌 尿 器 科	野村 威雄		三股 浩光 野村 威雄		野村 威雄		手 術 日		野村 威雄 (紹介のみ)	
眼 科	池脇 淳子	手術日	池脇 淳子		池脇 淳子	手術日	池脇 淳子		横山 勝彦	
救命救急センター 救急集中治療部	24時間体制 添田 徹・中島 竜太									
病 理 科	病理診断に関するご相談を受け付けております									
健康医学センター	人間ドックは随時受け付けております									

※変更につきましては、随時ホームページでお知らせいたします。

Science&Humanity 科学する心と人間愛

基本方針

- 1. 循環器疾患、脳血管疾患の急性期対応病院としてセンターの機能充実を目指す。
- 2. 救命救急医療の機能を充実する。
- 3. 消化器癌、肺癌中心に癌の早期発見、治療に整備努力する。
- 4. 高齢化により増加が予想される骨・関節疾患、泌尿器疾患、眼疾患、リハビリ疾患に適切に対応する。
- 5. 生活習慣病に留意し、予防にも専心する。

地域医療連携室

地域医療機関の先生方から検査・診察依頼を受け患者様がスムーズに受診できますように、対応しています。

フリーダイヤル



0120-023-012

(8:30~17:15)

紹介状・診療情報送付先
FAX 0977-22-1151
(24時間対応)